

船舶事故調査報告書

平成28年3月17日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成27年3月26日 07時50分ごろ～12時34分ごろの間）
発生場所	不明（長崎県壱岐市小串地区のコーゴ岬南東方沖の漁場～小串地区の干出浜（岩）付近の間）
事故の概要	漁船富丸は、無人の状態で見えられ、船長が死亡した。
事故調査の経過	平成27年4月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 富丸、1.73トン NS3-74386（漁船登録番号）、個人所有 6.33m (Lr) × 1.76m × 0.71m、FRP ディーゼル機関、22kW（動力漁船登録票による）、昭和56年7月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年8月22日 免許証交付日 平成25年4月15日 (平成30年12月22日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東～東北東、風力 1、視界 良好、 気温 9.2～13.0℃ 海象：海上 うねり 波向北東、波高約1.5～2.0m、水温 約14℃ 本事故当時、壱岐市に海上警報並びに気象警報及び気象注意報は、発表されていなかった。
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成27年3月26日07時50分ごろ、船長が、コーゴ岬南東方沖の漁場から、家族と携帯電話で通話し、波が高いが博多瀬戸（はかた）を通過して帰る旨の話をした後、12時34

	<p>分ごろ小串地区北方の干出浜（岩）に無人で乗り揚げられているところを壱岐市勝本港に帰航中の漁船に発見された。</p> <p>本船は、発見した漁船により勝本港にえい航された。</p> <p>船長は、14時17分ごろ長崎県壱岐市<small>ながらす</small>の名烏島と同市丸山との間の水道で漂流しているところを陸上からの捜索者に発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。</p> <p>船長は、溺死及び頭部外傷と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
その他の事項	<p>本船は、コーゴ岬南東方沖500m付近の海域を漁場としていた。</p> <p>本船は、発見された際、クラッチレバーが前進になった状態であった。</p> <p>船長は、ふだんから乗船中に救命胴衣を着用していたが、発見された際、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>船長の救命胴衣は、発見されなかった。</p> <p>船長は、07時00分ごろ、家族と通話した際、漁場に向う時に波が高く危険であった旨の話をした。</p> <p>船長の捜索時、本事故発生場所付近には北東方からのうねりがあり、波高は約1.5～2.0mであった。</p> <p>本船は、船体に衝突痕等の損傷は認められなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、07時50分ごろ、船長が家族と携帯電話で通話した後、12時34分ごろ、小串地区北方の干出浜（岩）に乗り揚げ、無人の状態で見られたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺死したものと考えられるが、溺死に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>本船は、船長が家族と博多瀬戸を通して帰る旨の話をしたことから、帰航中であったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が漁場から帰航中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高いうねりや波が発生している海域の航行を控えること。

付図1 事故発生場所概略図

